

## 土浦平和の会

ニュースNo. 270 2014年8月

発行 土浦平和の会

事務局 土浦市神立町2664-2

TEL、FAX 831-9122

<http://heiwatutiura.web.fc2.com/>

### 憲法九条土浦の会&土浦平和の会 主催の「平和の旅」

#### 「田中正造を現代に活かす旅」(仮題)

期日 2014年10月23日(木)～24日(金) 1泊2日

集合時間 コープ 8時 (土浦駅東口、日産観光前)

費用 一人2万円

行先 栃木県佐野市、群馬県足利市

宿泊 国民宿舎 サンレイク草木 群馬県みどり市東町草木1654-1

0277-95-6309

案内 飯田 進さん(田中正造を現代に活かす事務局長)

佐野市郷土博物館、田中正造生家、旧谷中村・渡良瀬遊水池、他

参加申し込みは、土浦平和の会役員へご連絡ください。

### 土浦でも「原爆と人間展」

夏恒例の「原爆と人間展」(土浦平和の会など参加の実行委員会主催)は8月2、3日の両日、市内4中公民館で開かれました。今年は会場の都合で2日間だけでしたが、3日のピースデーには、小中学生含め75人が参加し、大西陽子さんの朗読「被爆を語りはじめる」、アニメ映画「はだしのゲン」の上映や土浦市平和使節団として広島での記念式典に参加した市内中学生たちからの報告と被爆者との交流を行いました。

中学生たちからは原爆記念館見学や記念式典を通し、原爆のすさまじさ、戦争の無意味さ、平和の大切さを実感したなどとしっかりした報告がなされ、また被爆者の茂木貞夫さん、黒川博さんからは、被爆者も高齢化が進んでおり、被爆体験を若い世代に語り継ぐことも難しくなっているが、戦争を知らない若い人たちも原爆や平和

平和の会ニュース、平和かわら版(PDF版)配信しています

平和の仲間へ伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122

早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスをご連絡ください

について学んでほしいと述べられました。

来場者からは集団的自衛権の行使容認などで戦争する国になるのではとの心配や、世界中の核兵器をなくさなければなどの声が寄せられました。

パネル展では一枚のパネル（背中一面が真っ赤に焼きただれた少年の写真）を見入っていた人が、「ここに写っている人は私の叔父さんです」とのこと。聞いてみると谷口稜暉\*（すみてる）さんの姪に当たる人で、土浦で原爆パネル展が開催されていることを知り常総市から来たとのことでした。「叔父さんからは聞いていましたが、写真を見るのは初めてです。本当にむごいですね、戦争は絶対嫌です」と涙ながらに語っていました。

(\*谷口稜暉氏：1929年生まれ。日本原水爆被害者協議会代表委員。16歳で本博多郵便局に勤務。集配中、住吉町の路上で被爆したが、奇跡的に一命をとりとめる。国の内外で被爆者の実態と核兵器廃絶を訴え続けている。)

## 「第19回8・15終戦記念日を考える市民のつどい」

が8月15日にワークヒル土浦で開催されました。若い司会者のもとで会が進行し、日本が行った愚かな戦争の結果について改めてかみしめました。22人参加。

- ① 軍国主義者から戦争反対を唱えてジャーナリスト 水野広徳  
NHK放映・その時歴史が動いた（DVD上映）
- ② 東京大空襲体験者 椎名愛子さんのお話（DVD上映）

「お父さんのとっさの判断で奇跡的に助かる」（写真）を視聴したのち、意見交流を行いました。



## パンフ「私の戦争体験」（50円）を普及

土浦平和の会では、ニュースに連載した記事をまとめて表記のパンフを発行し、「2014原爆と人間展」、「8.15終戦記念日を考える市民のつどい」などで普及しました。9人の体験記からは戦争はその時だけで終わったのではなく、60年以上たった今もその傷跡を残しているものだと感じられます。

まだ、少し残部がありますので、ご希望の方は会の方にお声をかけてください。

### 活動ごよみ

8.22 土浦平和の会理事会

平和の会ニュース、平和かわら版（PDF版）配信しています

平和の仲間へ伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122

早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスをご連絡ください